

**ゲットィイメージズ、  
 国連で採択された「持続可能な開発目標(グローバル・ゴールズ:Global Goals)」  
 の世界的プロモーションのため東京国際写真祭で写真展「Project Everyone」を開催  
 ～貧困、ジェンダー不平等、気候変動への対応といった17の目標を象徴する写真・映像を発表～**



(Henrik Sorensen /Getty Images)

世界最大級の写真通信社である Getty Images, Inc. (米シアトル、以下 Getty Images) の日本法人であるゲットィイメージズ ジャパン株式会社(東京都渋谷区、代表取締役社長: 島本久美子)は、国連で採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals - Global Goals、以下グローバル・ゴールズ)」の世界的な認知拡大に向けた取り組みである「プロジェクト・エブリワン(Project Everyone)」の一環で、2015年10月9日から開催される東京国際写真祭で、写真展「Project Everyone」を開催することを発表しました。「Project Everyone」で展示される17点の象徴的な写真・映像シリーズは、貧困の撲滅、ジェンダー不平等の問題や気候変動への対応など、2030年までの達成を目指す17の目標を表現しています。

Project Everyone は、映画『ラブ・アクチュアリー』や『ブリジット・ジョーンズの日記』などの脚本や監督を手がけた英国の脚本家、映画監督であり、人道主義者でもある Richard Curtis(リチャード・カーティス)が発案したプロジェクトで、グローバル・ゴールズの大規模な啓発活動です。各国首脳がニューヨークの国連本部でグローバル・ゴールズを採択した2015年9月25日から、7日間で70億人にグローバル・ゴールズを周知することをミッションとしています。Getty Images は、創設パートナーとして Project Everyone に協力し、優れた写真や映像の提供や、優秀なフォトグラファーの派遣と撮影といった協力を行ってきました。屋外広告、デジタル広告、ウェブサイト、ソーシャルメディアを利用して作られたショートフィルムといったグローバル・ゴールズの認知拡大活動では、約2億点に上る Getty Images のコレクションから選ばれた力強い商用・報道用写真や映像が使用されました。また、Getty Images の契約フォトグラファーが関連するイベントを撮影しており、9月26日にニューヨークで開催された「Global Citizen Festival」や世界初となる国連総会での360°パノラマ撮影を実施しました。

写真展「Project Everyone」が開催される東京国際写真祭の開催詳細は以下をご覧ください。

日時： 2015 年 10 月 9 日(金)～18 日(日)

会場： ART FACTORY 城南島(東京都大田区城南島 2-4-10)

\*「Project Everyone」は屋外エントランス付近の展示となります。

東京国際写真祭ホームページ: <http://www.tipf.jp/japanese/>

クリスティーナ・ガラッチ国連広報担当事務次長は Project Everyone について、2015 年 9 月 3 日国連本部での記者会見にて次のように述べています。

「『持続可能な開発目標: グローバル・ゴールズ』の実施には、このゴールの存在が広く知られることが極めて重要になります。その意味で、リチャード・カーティス氏の Project Everyone 以上の国連とのパートナーシップはあり得なかったと思います。グローバル・ゴールズが広く行き渡るよう、リチャード・カーティス氏が生み出す創造的なコンテンツに期待しています。」

根本かおる 国際連合広報センター所長は次のように述べています。

「2015 年 9 月 25 日、『持続可能な開発目標: グローバル・ゴールズ』が国連で採択されました。15 年後の世界の設計図となる、この意欲的な目標を実現するためには何が必要なのでしょうか？それは、イメージです。私たちは、この世界を形作ってきたこれまでのイメージを描き直す必要があります。瞬間を切り取り、光を操り、音を奏で、言葉を紡ぎ、私たちが望む未来のイメージを描かなければなりません。グローバル・ゴールズの達成に向け、だからこそ、世界中のクリエイターの人々の力が求められているのです。」

ゲッティイメージズ ジャパン株式会社の代表取締役社長 島本久美子は次のように述べています。

「グローバル・ゴールズの認知拡大のためには写真や映像が重要な役割を果たします。写真や映像は言葉を超越し、世界中の人々にわかるメッセージを届けることができるため、ソーシャルメディアやスマートフォンが普及した現代社会において、訴求効果が非常に高く、共通言語と言ってもよいでしょう。多くの方に今週末の本写真展をご覧ください、それによってグローバル・ゴールズへの関心が広がることを願っています。」

Getty Images がグローバル・ゴールズへの関心を高めるために発表した象徴的な 17 点の写真は以下の URL をご覧ください。

<http://www.gettyimages.com.au/collaboration/boards/XmigUcJUmUWn1eDyKj2w0A>

また、Getty Images では、グローバル・ゴールズ認知拡大の活動に関連して、次のようなイベントやパートナーシッププログラムを世界中で展開し、活動をサポートしています。

- 全世界 10 万ヶ所の屋外広告に写真や映像を掲載(ニューヨークのタイムズスクエアからロンドンのピカデリーサーカス、クアラルンプールのペトロナスタワーまでに渡ります)。
- 英国の映画監督であり、人道主義者であるリチャード・カーティス監督によるショートフィルム『No Point Going Half Way』用の素材を提供。
- スティーヴン・ホーキング博士によるグローバル・ゴールズへのメッセージ『To save the world we need everyone to tell everyone(世界を救うためには、世界中の人々が一人ひとりにメッセージを伝える必要がある)』に映像素材を提供。
- 国連総会でのキャンペーン開始と、9 月 26 日、ニューヨーク市のセントラルパークで開かれた「Global Citizen Festival」を報道写真で紹介。世界初の試みとして国連総会開催の様子を 360° パノラマ写真で撮影。
- UNICEF とのパートナーシップで世界中の子供向けに行われた授業、「World's Largest Lesson(世界一大事なレッスン)」用の写真・映像素材を提供。
- 独自の「Beneath the Surface」キャンペーンを展開。ゲッティイメージズ会長兼共同創設者であるジョナサン・クラインが選んだインパクトのある写真・映像を紹介し、ビジュアルが世界を変える可能性を強調。

## ■ Project Everyone について

Project Everyone は、映画監督で Comic Relief 社を設立したリチャード・カーティスによる発案で始まったプロジェクトで、7 日間で 70 億人に国連のグローバル・ゴールズを周知するという意欲的な取り組みを行っています。一般の人々にわかりやすくメッセージを伝え、グローバル・ゴールズのスタートに大きな注目を集めるべく、国連や Global Citizen といったパートナーと協業し、また市民社会組織や様々なコミュニケーション・チャンネル、さらにモバイル、出版、インターネット、広告等の業界や NGO とともに、「Radio Everyone」「The World's Largest Lesson」「Prayer for Everyone」等のイニシアチブを通して活動しています。

詳細は以下のサイトをご覧ください。

<http://www.project-everyone.org/>

## ■ グローバル・ゴールズ(持続可能な開発目標)について

グローバル・ゴールズは、2015 年までに達成すべき目標として国連が 2000 年にまとめたミレニアム開発目標 (the Millennium Development Goals: MDGs)を引き継ぎ、地球規模の課題に取り組むために設けられました。2030 年までに極度の貧困やジェンダー不平等を解消し、気候変動に取り組むという意欲的な内容で、2015 年 9 月、ニューヨークの国連本部において正式に承認されました。地球上すべての人々のために定められた 17 の目標は、地球とその住人である私たちの「To do リスト(しなければならないことのリスト)」であると言えるでしょう。グローバル・ゴールズが国連で採択されたとき、この計画は歴史に偉業を残すことになりました。詳細は以下のサイトをご覧ください。

<http://www.globalgoals.org>

## ■ Getty Images について

Getty Images は、2 億点以上のデジタルコンテンツを世界 100 カ国以上に提供する、世界最大級の企業です。クリエイターやメディアをはじめとし、デジタルコンテンツを求める多くのユーザーがサービスを利用しています。また、Getty Images と共に、世界各地の主要な写真や映像コンペティションにおいて受賞歴のある実力のあるフォトグラファーが活躍しています。こうして日々、世界の著名な新聞や雑誌、キャンペーン、映画、TV 番組、書籍やウェブサイト飾っている写真を産み出しています。コミュニケーションやビジネスにおいてデジタルメディアが担うユニークな役割と、クリエイティブなアイデアにおける Getty Images の実績は、以下のサイトをご覧ください。

Getty Images ウェブサイト: [www.gettyimages.co.jp](http://www.gettyimages.co.jp)

## ■ ゲットイイメージズ ジャパン株式会社について

ゲットイイメージズ ジャパン株式会社は、1995 年に創業された米国シアトルに本社を置く Getty Images の日本法人です。

### 1. 報道映像・写真を提供する報道・通信社としての業務

新聞・テレビ・出版社を含むメディア各社を主要顧客とし、報道映像やスポーツ、エンターテインメント報道用写真を報道機関に提供しています。また、自社取材の映像に加えて AFP と提携して、テレビやインターネット向けのビデオ映像配信事業も展開しています。

### 2. 静止画や映像、音楽を提供するコンテンツプロバイダとしての業務

クリエイティブコンテンツをオンライン経由で提供するほか、コンテンツの商業利用にあたって、素材の権利処理サービスを提供します。加えて世界のビジュアルトレンドを調査・分析し、常に世界のニーズにあったコンテンツをトータルに提供します。

### 3. コンテンツを世界にライセンスする業務

日本のフォトグラファー、ミュージシャンを海外に紹介し、ライセンスします。

※実際の業務執行はゲットイイメージズ ジャパン株式会社より役務提供を受けたゲットイイメージズ セールス ジャパン合同会社による。

ゲットイイメージズ ジャパン ウェブサイト: <http://welcome-to-gettyimages.jp/>

《ご取材のお問い合わせ先》



PR 会社 株式会社 井之上パブリックリレーションズ  
ゲッティ イメージズ担当:横田、塚田、渡辺  
東京都新宿区四谷 4-34-1 新宿御苑前アネックス 2 階  
Tel: 03-5269-2301 Fax: 03-5269-2305 [gettyimages@inoue-pr.com](mailto:gettyimages@inoue-pr.com)

《取材以外のお問い合わせ先》  
ゲッティイメージズ ジャパン株式会社 広報担当:党  
東京都渋谷区神宮前 1-3-12 ジブラルタ生命原宿ビル 2F  
Tel: 03-5770-0678 Fax: 03-5770-0690 [marketing@gettyimages.co.jp](mailto:marketing@gettyimages.co.jp)